H24.4.17.中国新聞

「清く正しく」100期生の誓い

宝塚音楽学校入学式

兵庫県宝塚市の宝塚音楽学校（岩崎文夫校長）で16日、約23倍の難関を突破した第100期生40人の入学式が開かれた。岩崎校長は「100期生として注目されると思うが、自覚と責任を意識し、地道な稽古を積み重ねて宝塚歌劇団で華やかな舞台を見せてほしい」と式辞を述べた。

新入生を代表して京都府出身の上杉真央さんが「『清く正しく美しく』の教えを守り、立派な舞台人になるための志を胸に一歩一歩前進することを誓います」と宣言した。

記念撮影を前に、在校生（左手前）にリボンを整えてもらう宝塚音楽学校の第100期生（16日午前、兵庫県宝塚市）

流を当面停止した中国・南京市が、8月に名古屋市で実施される予定だった「ジュニアスポーツ交流事業」への中学生の派遣を取りやめ、事業が中止されたことが16日分かった。

名古屋市によると、11日に南京市側から電話で「交流を停止しているため」と派遣取りやめの連絡があったという。

両市は1978年に姉妹都市提携を締結。同事業は84年にスタートし、毎年交互に中学生のスポーツ選手を派遣していた。今年は、南京市から女子中学生と監督ら約20人を招き、名古屋市の中学生と女子バレーボールの合同練習や交流試合をする予定だった。

の制服に身を包み、男役は髪をリーゼントに、娘役は後ろで三つ編みにして講堂に登場。入学後2年間、バレエや日本舞踊、声楽のレッスンを受け、歌劇団への入団を目指す。

神奈川県出身の加賀有紀乃さんは入学式後、記者の質問に応じ「今朝は6時ごろ目が覚めた。髪形を整えていると合格の喜びが込み上げてきた。学校での2年間を大切に過ごし、お客さんに楽しんでもらえるよう笑顔で舞台に立ちたい」と緊張した様子で話した。

元プロ野球選手の太田幸司さんの長女太田玲奈さん（兵庫県出身）も入学。娘の姿を見守った太田さんは「4度目の受験でやっと合格。悔しさやつらさを忘れず、基礎をしっかり磨いてほしい」と笑顔で話した。

宝塚音楽学校は1913年に劇団「宝塚唱歌隊」として発足し、来年7月に100周年を迎える。戦争で一時生徒の募集を中止したが、発足当初は1年に何度か入学させることがあったため、今年の新入生が100期生となった。

宙組トップ凰稀さん

宝塚歌劇団は16日、宙組の次期トップスターに凰稀かなめさん＝写真右、次期娘役トップに実咲凛音さん＝同左＝が決まったと発表した。7月に退団する現トップの大空祐飛さんと野々すみ花さんの後任。

凰稀さんは川崎市出身、2000年初舞台。実咲さんは神戸市出身、09年初舞台。トップとしての初舞台は、ともに8月の宝塚大劇場公演。